

地下水かん養水田を通じた農産物のブランド化

—地下水かん養機能—

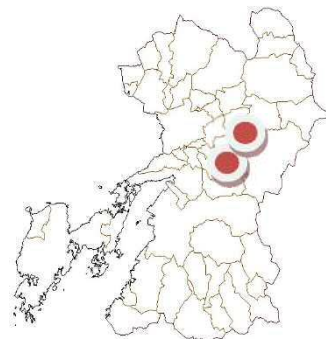
しらかわちゅうりゅういき

白川中流域土地改良区協議会



地下水かん養に寄与する水張り水田

下流域（熊本市等）への地下水かん養のため、大津町、菊陽町の転作水田で一定期間の湛水に取り組んでおり、この取組に対し、下流で恩恵を受けている熊本市や地下水を利用する企業（ソニー、果実連、化学及血清療法研究所等）から助成金の協力が行われている。また、湛水した水田で栽培された農産物を「水の恵み」ブランドとして、熊本市内で販売している。



おおつ きくよう
熊本県大津町、菊陽町



取組の説明看板

〔地下水のかん養〕

かんがい期間（5月～10月）の転作田に1～3ヶ月の水張りを実施することにより、農地が持つ地下水かん養機能が維持・発揮され、下流域の地下水を保全している。

また、地下水かん養に寄与する水田（水張り田）で生産された農産物を「水の恵み」ブランドとして販売し、地下水かん養に関する消費者への理解増進も図っている。

なお、この取組は、生産者、行政、企業のもとでその輪を拡げながら継続され、川上から川下まで一体となった取組として高く評価（平成25年3月熊本市が国連「生命の水」最優秀賞を受賞）されている。

〔体験学習と教育〕

白川中流域土地改良区協議会では、毎年「田んぼの学校 in 白川中流域」を開催しており、子ども達が田植え体験・稲刈り体験を通じて農業の大切さを学び、また、地下水かん養の仕組みについて勉強する場となっている。



農産物
「水の恵み」ブランド



水の恵みブランド生産者



田んぼの学校 in 白川中流域



水の恵みブランドを使った料理教室



水の恵みブランドの販売



協力企業との連携活動